

<試験官に関して>

試験官は以下 2 名でした。

外国人試験官 (NS) : 優しくて丁寧な言葉づかいをする試験官、という印象でした。40 代と思われる男性で (おそらく) 中肉中背、国籍はわかりませんが聞きやすい話し方をするおだやかな感じの人でした。終始にこやかな態度で接してくれましたが、質問のときの声はそれほど大きくはありませんでした。

通訳ガイド (TG) : 女性で美人の 30 代くらいの方で、はっきりした言葉で話す方でした。終始にこやかでした。

<面接試験の実際>

	面接での詳細をおぼえていれば実況中継レポートしたいのですが、僕はすっかり頭に血が上がっていたので自分でなにをしゃべったのか思い出すことができません。しかし、質問の内容はおぼえています。それらは、以下のとおりでした。
NS	Tell me about the history of Kyoto.
NS	What is the most important event in the history of Kyoto?
NS	Why do measure cities in Japan locate along Pacific Ocean?
NS	Which city do you recommend in those cities if I visit?
TG	(日本語で) もしあなたがガイドになったら、どのような心構えでガイドの仕事にのぞむおつもりですか。

<反省点、今後の課題、後輩へのアドバイス等>

自分でどのくらい質問に答えられたのか、まったく自信ありませんし、どのように答えたのかもほとんどおぼえていません。 2次対策のデビット先生からのアドバイスで、スマイルを忘れないように最後まで言われていたので、気をつけてはいたのですが、面接のあいだスマイルできたかどうか、これも自信がありません。スマイルに関しては、ふだんからにこやかな顔を心がけていないと、付け焼刃ではどうも対応できないと思いました。僕は、当日の朝から (もっと言えば、その週の始めから) スマイルに心がけていたのですが、肝心の面接のときには顔がこわばってしまったように思いました。それで僕は、このスマイルさえできていれば心にゆとりが生まれ、緊張することもなく、受け答えはスムーズにできて、終始なごやかに面接を受けることができるのではないかと、思いました。これが僕の反省点であり、今後の課題であり、これから受ける人へのアドバイスであります。